

2026 年 6 月 9 日

株 主 各 位

レイズネクスト株式会社
取締役社長 毛利照彦

当社第 122 回定時株主総会の第 4 号議案に関する補足について

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2026 年 6 月 25 日開催予定の第 122 回定時株主総会の第 4 号議案「監査等委員である取締役 3 名選任の件」における候補者番号 3 番の梅村一彦氏に関して、Institutional Shareholder Services, Inc. (以下「ISS 社」といいます) が、反対を推奨しているとの情報を入手しました。

つきましては、当該議案に関して、下記のとおり補足させていただきますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. ISS 社の反対推奨の内容

ISS 社が本総会に関して発行したレポートによると、梅村一彦氏の属性として「Audit Firm (former) 監査法人 (過去)」と記載した上で反対推奨しており、梅村一彦氏が、過去に当社の監査法人である EY 新日本有限責任監査法人に勤務経験があり、ISS の定める独立した社外取締役の基準を満たさないことを、反対推奨の根拠とするようです。

2. 梅村一彦氏が独立性のある社外取締役候補者であるとする理由

この点、梅村一彦氏は 2008 年 7 月から EY 新日本有限責任監査法人のパートナーでありましたが、2022 年 6 月をもって同法人を退任しており、本総会日 (2026 年 6 月 25 日) 時点で既に 4 年が経過しております。当社の社外取締役の独立性判断基準 (「第 122 回定時株主総会招集のご通知」23 ページご参照) においてクーリングオフ期間を 3 年と定めているところ、同氏はこれを満たしております。また、同氏は同法人在籍中にパートナーとして、当社の会計監査には一切関与しておりません。

また、既に「第 122 回定時株主総会招集ご通知」21 ページ注書き 3 項に記載しておりますとおり、当社と同法人との取引額は、同法人の直近事業年度における年間連結売上高の 0.1%未満であると同時に、当社の 2025 年度の連結売上高の 0.1%未満であるため、当社および同法人のいずれにとっても互いに主要な取引先にあたりません。

したがって、同法人が当社の意思決定に影響を与える関係にはなく、梅村一彦氏が当社の社外取締役に就任することについて、一般株主様との利益相反を生じる恐れは全くないと判断しております。

そこで、梅村一彦氏が EY 新日本有限責任監査法人のご出身者であることをもって社外取締役としての独立性を欠くとは判断しておりません。

＜ご参考：第 122 回定時株主総会招集ご通知 21 ページおよび 21 ページ注書き 3 項抜粋＞

候補者番号 3 梅村一彦（1959 年 9 月 13 日生）

【略歴、地位、担当および重要な兼職の状況】

1984 年 9 月 監査法人太田哲三事務所入所

1988 年 4 月 公認会計士登録

2006 年 5 月 新日本監査法人 代表社員

2008 年 7 月 新日本有限責任監査法人 パートナー

2022 年 7 月 梅村公認会計士事務所開設

同事務所代表（現任）

2023 年 3 月 日本精蠟株式会社 社外監査役（現任）

【選任理由および期待される役割】

梅村一彦氏は、公認会計士として長年にわたり監査法人に勤務し、多くの企業の監査業務を経験しており、財務・会計に関する専門的な見識を有しております。また、同氏は、監査法人のパートナーとして、組織のマネジメントに関する経験と見識を有しております。これらを活かすことにより、客観的かつ公平な立場に立って、取締役の職務の執行を監査していただけることが期待できると判断し、当社の監査等委員である社外取締役候補者いたしました。

（注）3. 西田まゆみ氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出ており、同氏の選任が承認された場合、引き続き独立役員とする予定であります。また、梅村一彦氏については、選任が承認された場合、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出る予定です。梅村一彦氏が所属していた EY 新日本有限責任監査法人と当社との間には取引がありますが、その取引額は同法人の直近事業年度における年間連結売上の 0.1%未満と極めて僅少であり、監査等委員である社外取締役の独立性に影響を及ぼすものではないと判断しております。なお、当社の社外取締役の独立性判断基準については、「株主総会招集のご通知」23 ページをご参照ください。

以上、書面によるご説明で恐縮ですが、第 122 回定時株主総会の第 4 号議案「監査等委員である取締役 3 名選任の件」に関して、補足説明をさせていただきました。

株主の皆様におかれましては、上記補足説明の内容をご確認いただき、当該議案に関して何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以 上